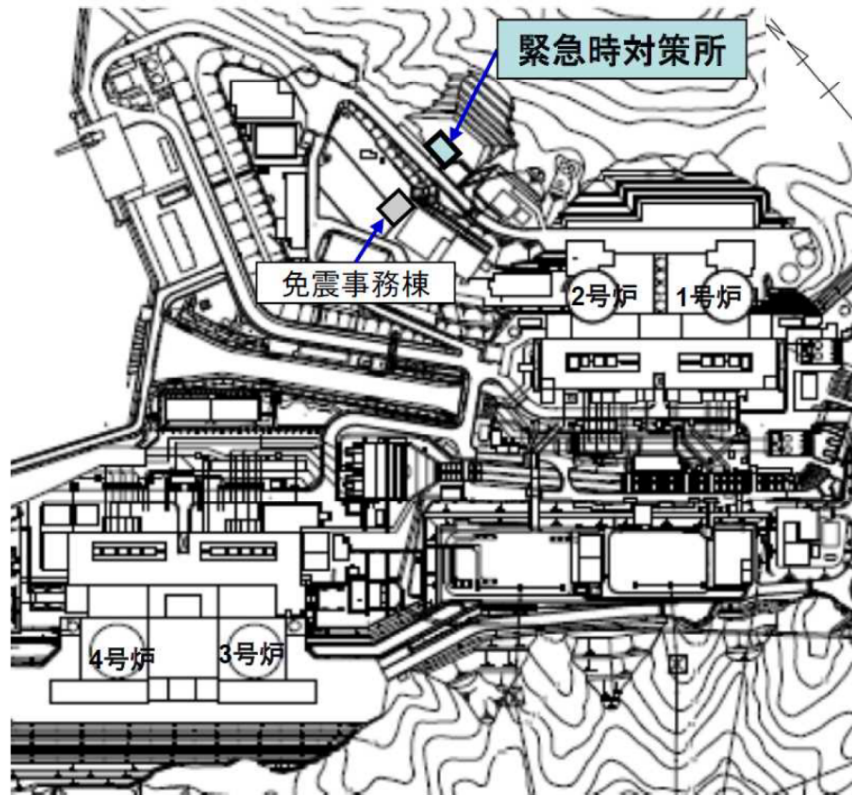


今回審査の特徴

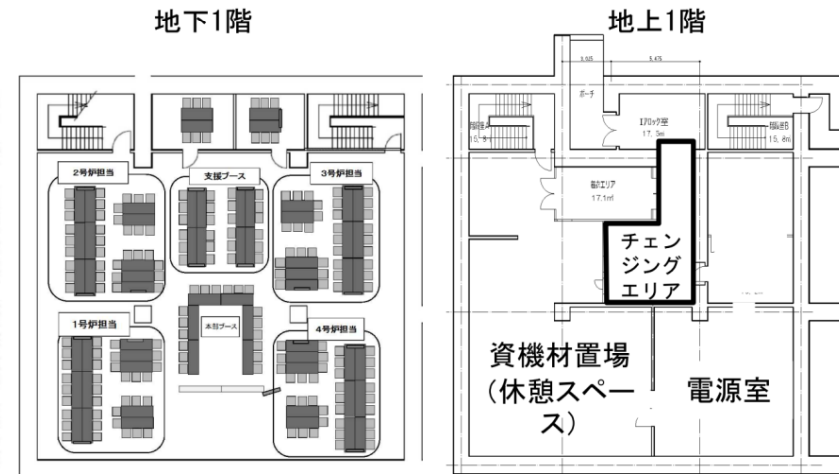
(2) 1～4号共通の施設等

② 1～4号用緊急時対策所の設置

- 耐震構造：地上1階地下1階、有効面積約750㎡、約200名収容



・なお、別に自主設備(規制外)として、免震事務棟を設置



審査結果：(次の事項を確認)

- 緊急時対策所内の要員の実効線量が7日間で100mSvを超えない
- 情報を把握し、発電所内外との通信連絡を行う設備を備える
- 必要な指示を行う要員が収納できる

出典：原子力規制庁提出資料